

平成 23 年 1 月 28 日

各 位

東京都文京区白山五丁目 1 番 3 号

株式会社ビーマップ

代表取締役社長 浅賀 英雄

(JASDAQ : 4316)

問合せ先：経営管理部長 大谷 英也

(電話 03-5842-5033)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年11月1日に発表いたしました平成23年3月期通期の連結業績予想並びに平成22年10月22日に発表いたしました平成23年3月期通期の個別業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
前回発表予想（A）	850	3	△10	△10	△311円53銭
今回修正予想（B）	650	△180	△200	△210	△6,542円26銭
増減額（B－A）	△200	△183	△190	△200	－
増減率（％）	△23.5	－	－	－	－
（ご参考） 前期（平成22年3月期）実績	911	△51	△59	△55	△1,729円27銭

2. 個別業績予想数値の修正

平成 23 年 3 月期通期個別業績予想修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
前回発表予想（A）	850	3	3	△20	△623円07銭
今回修正予想（B）	650	△180	△180	△220	△6,853円79銭
増減額（B－A）	△200	△183	△183	△200	－
増減率（％）	△23.5	－	－	－	－
（ご参考） 前期（平成22年3月期）実績	835	△24	△23	△45	△1,416円96銭

3. 修正の理由

第3四半期末における営業成績並びに受注状況等を踏まえ、また営業外費用の見通等も勘案し、連結並びに個別の通期業績予想を修正するものであります。

当社の売上は、大手社会インフラ系企業様からの受注を基盤として、新規、とりわけ下期に比重をおいた受注を積上げて構成されております。

今期につきましても、第2四半期終了時までは、年初計画に概ね沿った経緯をたどっており、第3四半期以降も予定通り推移するものと見込んでおりましたが、第3四半期に入り、顧客からの受注環境が厳しくなり、第3・第4四半期を通じて受注の減少と利益率の低下が予測されることともに、新規受注として見込んでおりました大型受注案件数件の年度内受注・売上が難しい状態となりました。

事業分野別の状況は以下のとおりであります。

①ナビゲーション事業分野

鉄道関連は、引き続き着実に進捗すると見込んでおりますが、予定以上の原価が発生し若干利益率が低下しております。道路ナビ関連において、下期に予定していた大型案件が、受注見込規模の縮小または来期以降に延伸となっており、全社成績の下振れ要因となっております。また、びあはーる関連において、積極的に展開を図る観点から、第3四半期において技術面の強化を行い、第4四半期以降の収益化を予定しておりましたが、こちらも、受注見込規模の縮小となっており、人員投入に見合う収益の確保が厳しい状況となっております。

②モニタリング事業分野

大手飲食店チェーン向けの展開を強化するため、11月より新商品の投入を行った結果、当初予定通り進捗しております。また、若干遅れはありますが、駐車場向けの販売・導入も順調に推移する見込です。

③クロスメディア事業分野

全体的に受注減となりましたが、特に、TVメタデータ関係のメディア向け展開、大手ポータルサイト向け展開が当初スケジュールより遅延したため、売上高・売上総利益の伸びが予定より下回りました。その他の大手企業との連携ビジネスを企画・調整中ではありますが、一部を除き全体に遅れており、今期の収益化は厳しい状況となっております。

無線LAN関係については、顧客の積極的な事業展開に対応し、第4四半期より伸長する見込みですが、全体の収益を回復させる規模には至っておりません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

(注) 平成23年3月期第3四半期決算短信は、平成23年2月2日に発表する予定です。

以 上